

平成 28 年度 第 2 回環境水理部会 議事録

日時：平成 29 年 3 月 16 日（木）12:20～13:10

場所：九州大学伊都キャンパス・ウエスト 2 号館 319 号室（第 61 回水工学講演会）

参加者：■赤堀（愛工大）、赤松（山口大）、石塚（香川大）、■乾（山口大）、梅田（東北大）、□大石（土研）、大槻（土研）、大橋（玉野総合コソ）、■片岡（東理大）、齋田（鹿児島大）、櫻井（土研）、重枝（九工大）、新谷（首都大）、田井（九大）、竹林（京大）、□田代（名大）、中山（神戸大）、■二瓶（東理大）、◎宮本（芝工大）、○矢島（島根大）、矢野（九大）、■吉川（北見工大）

（以上 22 名。敬称略。五十音順。◎：部会長，○：副部会長，□：幹事，■：オブザーバー）

1. 報告事項

① 水工学委員会報告（宮本部会長）：

- ・次期水工学委員長の選挙が実施され、清水康行先生（北大）が就任。
- ・3 月 15 日開催の河川災害シンポは 284 名が参加し、盛況であった。
- ・論文集編集小委員会の体制が変更となり、通常号と英文誌の編集が統合される。
- ・来年度全国大会にてグローバル気候変動適応研究推進小委員会で共通セッションと研究討論会が実施される。
- ・水工学夏季研修会は、8 月 31 日、9 月 1 日に大阪大学で実施。部会関連では元部会長の角先生、藤田先生（ともに京大防災研）、幹事の大石委員が講師を務める。
- ・水害対策小委員会の調査団については、北海道豪雨について帯広で 4 月 20 日、東京で 5 月に報告会を実施。熊本地震災害の報告会は 5 月 13 日に熊大で実施。
- ・今年度水シンポは沖縄で 10 月 31 日、11 月 1 日に実施。次年度は沼津で実施予定。
- ・次年度水工学講演会は岡山で 3 月に実施。次々年度は少し前倒しして（12 月など？）実施の方向で検討する予定。
- ・水工学委員会の新顧問として、道奥康治先生（前・水工学委員長）が推挙された。砂田憲吾先生は定年（70 歳）により顧問を退任されることとなった。
- ・水工学論文集への投稿について、今後は、通常号への投稿を推奨する旨の返却があり得ることなどが紹介された。

② 研究ワーキンググループの報告：

- ・閉鎖性水域 WG（矢島副部会長）：ダム湖沼生態系モデル Phantom3D-AED の開発状況、研究集会・シンポジウムを構想・検討中。
- ・温暖化適応 WG（矢野委員）：8 月 19 日に研究会（第 3 回 WG）を実施し、科研費（基盤 B）をメンバーで申請した。今後は、第 4 回 WG を研究集会のタイミングで実施し、適応小委員会と協働を図っていく。合わせて、グローバル気候変動適

応研究推進小委員会（矢野小委員長）についても報告があった。

・教科書英文化 WG（矢野委員）：第 4 章までの英訳（翻訳業者への発注による）が完了。今後、残りの章を継続して進め、各担当主査への確認作業に移行する予定。各担当主査の委員から作業分担に対する提案や、掲載図面の著作権、英訳化に伴う日本語本の売り上げへの影響に対する懸念が示される一方で、英訳した場合にも日本語本の売り上げへの影響は少ない、などといった意見が出された（土木学会からは英文化教科書発行の許諾済み）。

・動的総合土砂管理 WG（竹林委員）：黒部川での排砂見学会（6 月、詳細は直前に確定）、那珂川の置土か、天竜川のアユ産卵床のいずれかでの見学会を実施予定。

・樹林化 WG（宮本部会長）：6 月 19、20 日、札内川を対象に、フラッシュ放流のタイミングに合わせて企画・実施予定（幹事：川村氏（寒地土研））。

2. 審議事項

① 次期執行部

・新・副部長について、矢野真一郎委員（九大）とする推薦意見を受けて執行部で協議の結果、新・副部長を矢野委員とする提案があり、全会一致でこれを承認した。

・幹事は、田代幹事（名大）が留任し、大石幹事（土研）に代わって大槻委員（土研）が着任することとなった。

② H29 年度研究集会

・齋田委員（鹿児島大）から鹿児島で 6 月 1、2 日に実施する案が紹介され、審議の結果、これを承認することとなった。鹿児島大学稲盛会館を主会場に、2 日午後の現地見学会は川内川を中心に企画する予定。新旧幹事で支援して準備・運営する。

③ UAV シンポジウム（山口大）の共催

・4 月 14 日に実施する旨、赤松委員（山口大）から紹介があった。他の行事についても部会として積極的に共催を認める旨、宮本部会長より周知があった。

3. その他

① 河川部会への委員派遣：赤松委員から石塚委員（香川大）へ交代。

② ホームページ担当：齋田委員、大槻委員から、田井委員（九大）に交代。

③ 新・オブザーバー：川村氏（今年度の樹林化 WG in 北海道の幹事、寒地土研）が推薦された。ご本人の意向を伺って、よければ承認ということになった。また、今後、次回の委員改選のタイミングに合わせて新規に委員をお願いする。

④ 矢野委員から水工学講演会特別講演会、交流会への参加要請があった。

以上